

2. 分野別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ分野

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
ふじのくに先端医療総合特区 (静岡県等)	4.4	4.1 進捗度 ・がん診断装置・診断薬の開発 200% ・その他医療関連製品の開発 104% ・医療分野に活用可能な山梨県企業の高い技術力について、静岡県企業がファルマバレーセンター及びメディカル・デバイス・コリドー推進センターに相談した件数 103% 等	4.4 規制の特例等 ・国内品質業務運営責任者の資格要件について 等 財政支援等 ・医療機器等開発・参入支援事業 ・総合特区支援利子補給金 地域独自の取組 ・沼津高等専攻科「医療福祉機器開発工学コース」の開設 等	4.5	・静岡県と山梨県の連携も進みつつあるところが評価できる。 ・多方面にわたり、十分な実績をあげていると思われる。 ・高校・大学をも巻き込んだ多方面の取組が印象深い。 ・評価指標(1)(2)(3)は目標値を高い水準で達成しており順調な進捗であることがうかがえる。 ・高齢者住宅の開発は今後の発展を期待したい。 ・評価指標(4)(5)の目標値未達はコロナ禍から回復途上の状況にある影響があると推察するが、影響が長引く場合には情勢に応じた工夫に期待したい。